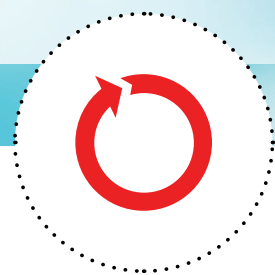


密度勾配超遠心法による 生体分子の高純度精製の原理と アプリケーション



日時 2025年 9月 25日 [木] 13:00 ~ 13:50

演者 村山 宗司

ベックマン・コールター株式会社 ライフサイエンス 遠心機事業本部 シニアアプリケーション スペシャリスト

密度勾配超遠心法 (DGUC : Density Gradient Ultracentrifugation) は、ウイルス、細胞外小胞 (Extracellular vesicles : EVs)、細胞内小器官、リポ蛋白質、プラスミドなどの核酸、脂質ナノ粒子 (Lipid Nano Particle : LNP) などの生体分子の高純度精製法として、長年使用されている手法です。

特に、近年はウイルスベクターを用いた遺伝子治療や細胞治療、またLNPやEVを用いた薬物送達などの新しい医薬品モダリティが注目されており、今後は生体高分子に対する高純度・高収率な製造技術が必要となります。

本セミナーでは、**DGUCの原理と実践例**を紹介しながら、DGUCによる生体高分子の精製における課題とその解決策を詳しく解説します。

さらに、今年発売した新製品である密度勾配自動作成装置OptiMATE Gradient Makerにも触れながら、DGUCを用いた生体高分子の高純度精製を実現するワークフローについて紹介します。

このような方におすすめ

- ・ウイルスベクター、細胞外小胞 (EVs)、脂質ナノ粒子 (LNP) などの精製に携わる研究者・技術者
- ・生体高分子の製造スケールアップや品質管理に課題を感じている方
- ・DGUC法の原理と応用事例を体系的に学びたい方

視聴登録はこちら

<https://bit.ly/3JsBGq3>



Beckman CoulterおよびBeckman Coulterロゴは、Beckman Coulter, Inc.の登録商標です。